

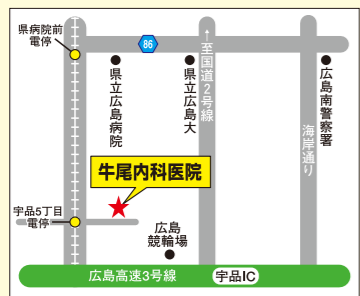
# 連携医院のご紹介

今回は、夫婦協働で診療されている宇品の牛尾内科医院 牛尾先生です。



## 牛尾内科医院

〒734-0004  
広島県広島市南区宇品神田5丁目22-17  
電話/082-254-5131  
院長/牛尾 剛士  
診療科/内科、消化器科、胃腸科、循環器科、呼吸器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、小児科



### ○いつ開業されましたか。

父が昭和31年より開業していた医院を、平成2年に私が父から引き継ぎ、夫婦で診療を始めて21年になります。

### ○開業医のおもしろさって何ですか。

開業医もたいへんで辛いことが多く、患者さんの置かれた環境、背景のすべてを理解しないと良い診療はできません。ご家族の気持ちにそって診療していく必要もあります。

### ○夫婦で診療することの良い点、難しい点を教えてください。

お互いをフォローしながら診療ができること、意見や方針の擦り合わせが必要なこと、患者さんの深い情報は共有できないこと、これらは表裏一体で、メリットでもあり、デメリットでもあると思っています。

### ○日頃の診療において感じていることはありますか。

父もよく言っておりましたが、能力を超えて患者さんを診ることは事故につながる可能性もあります。自分の能力を高める努力は必要ですが、勤務医の時代はそんなことは考えもしませんでした。

### ○牛尾先生にとって県病院はどんな存在ですか。

県病院は地域の拠点病院です。宇品地区の開業医の県病院への紹介率は非常に高いという特徴があります。それは、県病院に対する地域の期待が大きいためということであり、県病院にはその期待に応えるよう頑張ってもらいたい。

### 【取材後記】

熱く思いを語られる真剣な眼差しが印象的な牛尾先生。日頃感じておられることを、たくさん語っていただきました。スペースの都合上、すべてをご紹介できないのが残念です。また、今回の訪問ではお会いできませんでしたが、一度奥様にお会いして同じ質問してみたいと思いました。



# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。  
県立広島病院 で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

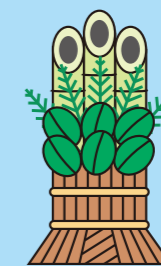
理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



「朝焼け」

恭賀新年、皆様にとって良い年でありますように、お祈りいたします。

当院は今年も「県民の皆様に愛される病院」(病院理念)をめざして、良い医療を続けていきます。



院長 桑原 正雄

## ワンポイント健康メモ — お正月料理の上手な楽しみかた —

お正月といえばおせち料理やお雑煮を食べることが多いですね。お餅2個入りのお雑煮は約300kcalです。おせち料理は健康的な和食に見えますが料理によりカロリーがかなり違います。煮物は保存性を高めるために味付けがしっかりされているので砂糖やみりんがたっぷり。塩分も濃いことから食べすぎは禁物です。

特に、人気のある甘いおせち料理はお菓子と考え少しづつ楽しみましょう。

**【栗きんとん(栗二粒分)約170kcal、黒豆一人前約57kcal、伊達巻(小2切れ)約80kcal、】**

おつまみにも人気のある**かまぼこ(2切れ約40kcal)、かずのこ(2切れ約20kcal)**は比較的lowカロリーですが食べすぎにはご注意ください。

野菜や魚介類の酢の物は比較的lowカロリーでお勧めです。

**【紅白なます(小鉢一つ分; 18kcal)、酢レンコン(2-3枚; 24kcal)、菊花かぶら(小鉢一つ分; 20kcal)】**

ところで、おせち料理に飽きたら食べたくなるものは**1位ラーメン(400-600kcal)、2位カレー(750kcal)、3位焼肉(400kcal)、4位寿司(1貫50kcal)**だそうです。

家族団らんでゆっくり過ごす時期だからこそ、生活が不規則になりがちです。

親戚などで集まっておなかすいていないのにスナック菓子、焼肉、寿司をつまんでしまう、という方はお正月太りに要注意!

健康な一年になりますように。



総合診療科 部長 岡本 和子

## ご案内

### 1月のがんサロン

- と き/平成24年1月24日(火) 14:00~15:30
- ところ/新東棟2階 総合研修室
- テーマ/お家でできる簡単ストレッチ ~体力を維持するためにできること~
- 対象/当院に悪性腫瘍(がん)で通院または入院治療中の患者様及びご家族
- 問い合わせ先/地域連携科 TEL: 082-256-3562(直通)

※詳しくは県立広島病院ホームページへ。 [県立広島病院](http://www.hph.pref.hiroshima.jp/) で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

### がん医療従事者研修

- と き/平成24年1月24日(火) 19:00~(2時間程度)
- ところ/中央棟2階 講堂
- テーマ/「がんの在宅ケア」
- 内容/事例紹介、ミニレクチャー
- 対象/地域の医療従事者(医師、薬剤師、看護師ほか)
- 問い合わせ先/総務課管理係(担当:奥野) TEL: 082-254-1818(内線:4272)

## 外来診療のご案内

- 診療受付時間 午前8時30分~午前11時00分 ※午後の診察は科によって異なります。
- 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始(12月29日~1月3日)
- 紹介状持参のお願い 初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

# 診療科だより

第14回

運動器の  
スペシャリスト  
です!!

整形外科

今回は、整形外科の望月主任部長に直撃インタビューです!!

## はじめに、「整形外科」について教えてください。

整形外科は運動器のスペシャリストです。年齢でいうと、赤ちゃんからご高齢の方々まで、全ての年齢層の方を診療させていただいております。部位で言うと、頸から足先まで体



望月主任部長  
もちつき

の中の広い範囲をカバーさせていただいております。また、病気の種類で言うと、骨折や脱臼などの急性疾患から、骨粗鬆症や関節リウマチなど、経年的に病状が進行する慢性疾患まで、全てを診療させていただいております。平均寿命が延びるにつれて、整形外科のニーズは大きくなっており、病院を受診される患者さんの7割から8割の方は整形外科の疾患を持っているといわれています。また、腰痛や肩こりは厚生労働省の有症状率の調査で常に上位にランクされています。保存的あるいは手術的治療以外にも、運動療法を通じて転倒予防やロコモティブシンドロームに対する対策を啓蒙し、より良いQuality of Lifeのために努力しております。

## 整形外科ではどのような治療をどのようなスタッフによって行われているのですか？

県立広島病院整形外科は、一般整形外科に基づいて各医師が専門性をもって診療に取り組んでおります。スタッフは、リハビリテーション専門医の中西徹先生を含めて全員で8名です。研修医以外の先生は全員整形外科専門医です。

リハビリテーション科主任部長の井上博幸先生は、股関節外科とリウマチを専門としております。また、広島のエリアにおいて、外傷の手術で低侵襲手術を行っている数少ない医師の一人です。村上祐司先生は、関節鏡視下手術により半月板の手術

や膝関節靭帯の再建術を行うのみならず、全人工膝関節置換術を低侵襲なアプローチで行っております。延藤博朗先生は、腫瘍外科が専門で、新聞に取り上げられました様に、多くの症例を治療しております。西田幸司先生は、脊椎・脊髄外科を専門にしており、顕微鏡下手術により低侵襲手術を行っております。さらに、後期研修2年目の林聖樹先生と1年目の松下亮介先生は一般整形外科を研修しております。最後に、整形外科主任部長の望月由は、肩関節外科を専門にしており、鏡視下手術を腱板損傷や反復性脱臼の方々に対して行い、低侵襲手術を行っております。昨夏には広島大学整形外科の越智光夫教授のお導きにより、イタリャプロサッカーリーグセリエAのインテルの長友選手を診察させていただきました。

## 最後に、整形外科としてここがけていることを教えてください。

診療全般を通して、安全第一を心懸けております。安全・安心な医療を提供できるように日々努力しております。手術枠や入院病床の関係で、皆様のご希望通りに入院や手術ができない場合もあるかもしれません。そのような場合も地域連携科のお力を借りて、緊密な連携をとらせていただければと思います。



後列左から、林、中西、西田、松下  
前列左から、延藤、望月、井上、村上

次回は、精神神経科に直撃インタビューします。

## 新任医師紹介

よろしくお願いします



県立広島病院 循環器内科 部長 末成 和義

趣味：テニス

モットー：質の高い診療を目指す。

循環器診療のなかでも、カテーテルを使った不整脈治療を専門に行っています。どうぞよろしくお願いいたします。

# 外科医の独り言

## — 苦手な栄養指導 —

相変わらずテレビや雑誌で健康についての話題は満載で、むしろ情報過多ではないかと心配するくらいです。さらにインターネットまで手を伸ばしてしまうともはや収集がつかなくなります。私も患者さんからこれが良い、あれが良いと教えてもらうことが多々あります。そのような情報を手に入れたいと思うのは、皆さんの最終目標が「健康で長生き」であるからに違いありません。生活習慣病、がんの予防に効果があり、おまけに若返り、美容に良いとなると気にならない人はいないでしょう。私なら「筋トレアップ!」とか「持力アップ!」というフレーズの方が気になるのですが…。

それはさて置き、外来で患者さんに「食事は何に気を付けたらよいでしょうか?」と聞かれた時私の答えはいつも決まっています。「バランスよく、ゆっくり腹八分目」と。おそらく患者さんは物足りないと思います。「それだけでいいですか?」と聞き返されることもよくあります。患者さんはもっと具体的に詳しい説明を期待されているのだと思いますが、残念ながら私にはそれだけの知識しかありません。したがって「肉は食べていいですか?」と聞かれたら、「良いですよ」、「魚は?」と聞かれても「良いですよ」、しまいには

「何でも食べて良いのですか?」と聞かれてこれも「良いですよ」。でも最後に一言、「バランスよく腹八分目にね、ゆっくり」。これ以上、会話が続きません。しかし、心配ありません。厳密な食事療法が必要な患者さんには私よりはるかに正しい知識を持つ栄養士さんからちゃんとした栄養指導をして貰いますから。

さて私が良く使う「腹八分目」ですが、これは本当に難しいですね、私自身一番自信がありません。「腹八分目」という言葉は、「腹八分目に医者いらす」とか「腹八分目に病なし」という諺にも出てきます。江戸時代の儒学者貝原益軒が「珍美の食に対すとも、八九分にてやむべし。十分に飽き満つるは後の禍なり」と「養生訓」に記していることに由来しているそうです。海外でも「大食は剣より多くの人の命を奪う」という諺があるようですから、私は患者さんに決して間違ったことは言っていない。しかし貝原益軒が九分目まで良いと言っているのに安心しているのは自分だけでしょうか?



消化器・乳腺・移植外科  
板本敏行(いたもと としゆき)

## 看護部だより

糖尿病足病変の早期発見・早期治療  
そして予防的なケアに努めています。

## フットケア外来

平成20年より糖尿病合併症管理料(170点)が算定できるようになり、当院では平成21年3月よりフットケア外来の運営を開始しています。フットケア外来では、糖尿病足病変の早期発見・早期治療そして予防的なケアにより重症化を予防し、セルフケアの向上を図ることを目的に活動しています。

内分泌内科医をはじめとする医師の指示のもと、外来看護師1名、病棟看護師3名の4名で4回/月行っています。フットケア指導を中心に、フットアセスメント、足浴や爪切り・胼胝(たこ)削りなどのケアを行っています。また、実施人数は少ないですが、患者様にはとても喜んでいただいております。

右肩上がりに増加している糖尿病患者様の足を守り、そしてフットケアをきっかけとして糖尿病合併症の発症・進展を予防していけるよう頑張っていきます。

